

こんなものまで出てくるの？

キーボードを打つのが楽しくなっちゃう！

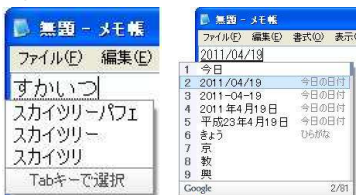
昨年末に、検索サイトのGoogleから日本語入力ソフトが正式リリースされました。既にお使いの方もいるかも知れませんが、今回はこの「Google日本語入力」についてご紹介したいと思います。日本語入力ソフトは、パソコンに最初から入っているものですが、普段はあまり気にならないものだと思いますが、コレの良し悪しで、文章の入力効率が決まってしまうほど重要なものです。今使用している日本語入力ソフトを「Google日本語入力」に替える意味があるのか、今号を読まれて参考にしてください。(今号は「Google日本語入力」で入力しています)

Webが辞書になる？日本語入力の新しい方向

今まで、日本語入力ソフトと言えば、Microsoft IMEやATOKなどが一般的でしたが、そこにGoogle日本語入力が割り込んできました。ダウンロードして無償で使用できるのですが、完成度はかなりのものです。Webで集めた膨大なキーワードを利用して、今までになかった変換候補が続出します。「どんな変換候補がでるのかな？」と、使っていても楽しくなるソフトです。「おみくじ」と打って、変換すると今日のあなたの運勢も出てきます。

「ぐりーん」が「GReeeeN」に変換できる！

Google日本語入力が、これまでのソフトと違うのは、変換候補の元になる「辞書」にあります。Googleがネット検索で集めたキーワードを利用しているので、Webで話題の人名やキーワードなどの最新語に強いと言う特徴があります。これに加えて「サジェスト機能」により、文字の入力中に変換候補が次々に出てきます。文字を最後まで打つ必要がなく、変換候補



が出てきた時点でTabキーで選択して決定すれば、キーボード入力の省力化にもなります。例えば「すかいつ」まで入力すると、左の図のように変換候補が出てきます。面白い機能では、「きょう」と入力すると日付に変換できます。

「あさって」「きのう」も変換でき、「いま」と入力すると、現在の時刻に変換する事もできます。また、「1+1=」を変換すると「2」に変換されます。

Google日本語入力は、もちろん学習機能や単語の辞書登録も可能です。スパナマークをクリックして、「プロパティ」で各種設定ができます。

まだまだ開発中？機能がどんどん増えそうです

Google日本語入力の辞書の更新間隔はわかりませんが、かなり更新は早いようです。発表当時、誤変換していた語句も今は正しく変換されます。ただ、MicrosoftのIMEにある、「手書き入力」や「文字パレット」にはまだ対応していませんので、読み方の分からない文字の入力には苦労しそうです。また、再変換機能もありませんが、それらも現在開発中ですし、簡単にMicrosoftのIMEと切り替えることができますので、それほど困ることもないでしょう。無償ですし、気に入らなければアンインストールすれば良いので、一度試してみる価値はあるのではないのでしょうか。

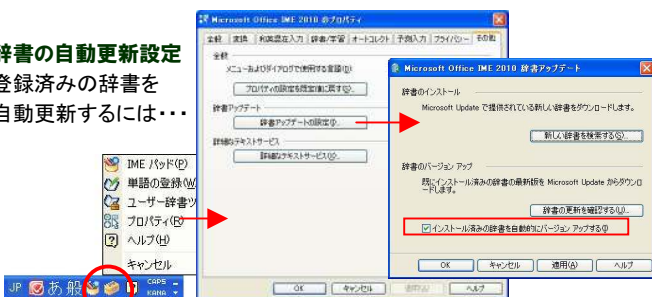
切り替えは簡単！



Microsoft Office IME2010も無償になった！

Microsoftの日本語入力システム(IME)は、バージョンアップを重ね、現在の最新バージョンは、Microsoft Office IME 2010です。今までのIMEは、WindowsやOfficeに付属していましたが、Office IME 2010では、OfficeXP以降のOfficeがインストールされていれば、無償でダウンロードしてインストールすることができます。Office IME 2010は、それまでのIME2007に比べ、変換速度が2倍以上に高速化され、変換精度や学習機能も強化されました。IME2010は、辞書の自動更新にも対応していますので、「最新後辞書」を更新すれば、Google日本語入力ほどではありませんが、最新語の変換を強化することができます。

辞書の自動更新設定 登録済みの辞書を 自動更新するには...



日本語入力ソフトも自分で選ぶ時代です

Google日本語入力は、次々に表示される変換候補に惑わされることもあります。例えば「げいしゅん」と入力すると、「迎春」の他に「慶春」も出てきます。Microsoft IMEでは絶対に出てこない語句です。「おじ」「おば」などの語句もMicrosoft IMEでは、その意味を表示してくれますので、使い方を間違えずに済みます。有償のATOKでは、Google日本語入力と同じような推測、日付変換機能や、Microsoft IMEの一步先を行き、誤りの指摘やアドバイスの機能もあり、まさに「至れり尽くせり」の日本語入力ソフトです。それぞれの特徴を知って、最適な日本語入力ソフトを使用することが、「良い文章」「良い文書」を書くことにつながります。

あなたはどっち？

Microsoftの日本語入力ソフト(IME)には、2つの系統があることをご存知ですか？あなたはどちらのIMEをお使いなのでしょうか...

Windows/パソコンを購入すれば、Microsoft IMEと言う日本語入力ソフトが最初から入っていますので、多くの方はご自分がお使いの日本語入力ソフトはMicrosoft IMEだと思っているのではないのでしょうか。でも、Microsoftが出している日本語入力ソフトはもうひとつあるのです。MicrosoftのOffice製品に搭載されているOffice IMEです。両者は、見た目はほとんど変わりません。下の図のようにブランドアイコンがちよっと



違う程度です。しかし、機能は大きく違い、左でご説明した「最新語辞書」の更新サービスがあるのは、Office IMEの方になります。また、「変換エンジン」もWindows Vistaや7のMicrosoft IMEは、Office IME2003をベースにしたもので、最新の変換エンジンではありません。OfficeXP以降のOffice製品がインストールされているなら、Office IME 2010にバージョンアップしてはいかかでしょうか？

進化する日本語入力ソフト

これまで、2006年7月、2008年11月と日本語入力ソフトを取り上げました。今回、新たに無償のGoogle日本語入力についても書いてみました。日本語には同音異義語が多数ありますので、知らない間に誤った日本語を使っているかもしれません。間違いの無い日本語の文章を目指し、日本語入力ソフトは、日々進化しています。数年後には、思いも寄らない機能が付いているかもしれません。

★Google日本語のダウンロード

<http://www.google.com/intl/ja/ime/>

※ Windows 7、Vista SP1 以降 XP SP2 以降が必要で。

★Microsoft Office IME 2010のダウンロード

<http://www.microsoft.com/japan/office/2010/ime/default.msp>

※ サポートOSは、Windows 7、Windows Vista、Windows XP Service Pack 3 です。

開発室から

実際にGoogle日本語ソフトをインストールして使いましたが、キーボードを眺みながら文字入力している私は、サジェスト機能の恩恵がなかなか受けられません。ブラインドタッチが完璧に出来ていれば、かなりの省力化になるはずなのに...